

Sanko. 北海道

札幌市中央区北1条西2丁目1
札幌時計台ビル8F
TEL (011) 232-3853 / FAX (011) 232-1138

「Sanko.北海道」は産業雇用安定センター北海道事務所からのお知らせです。

独立行政法人自動車事故対策機構のご紹介

独立行政法人自動車事故対策機構
札幌主管支所長 奥名 正宏 氏



令和6年4月1日付け人事異動により、ナスバ（独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA））札幌主管支所長に就任（北海道運輸局より出向）しました。

前職では札幌運輸支局長として、運輸行政に携わっていました。

ナスバは、自動車事故対策の専門機関として、自動車事故被害者を「支える」、自動車事故を「防ぐ」、自動車事故から「守る」の3つの業務を一体的に実施して、自動車事故の防止と被害者支援に取り組み、自動車事故ゼロ社会の実現をめざしています。



自動車事故防止に課題をお持ちの会員企業様におかれましては、下記で記載しました「適性診断」や研修等における「講師派遣」をご活用いただけますと幸いです。

自動車事故防止に関してお困り事などがありましたら、ぜひナスバへお気軽にご相談下さい。

ナスバが実施する「3つ」の業務

1.自動車事故被害者を「支える」

○在宅介護への支援（介護料の支給等）

自動車事故で脳、脊髄等を損傷し、重度の後遺障害を負われた方（一定の要件あり）に対して、介護料を支給しています。

そのほか、在宅介護相談窓口の設置、ご自宅への訪問支援の実施等、相談対応や情報提供を積極的に行っています。

○交通遺児等の生活支援

中学校卒業までの交通遺児等の方に対して、生活資金の無利子貸付を実施しています。

また、交流の場として「交通遺児友の会」を設置し、レクリエーション活動「友の会の集い」や、絵画・書道・写真コンテストを実施しています。

○療護施設の設置・運営

自動車事故により脳損傷を生じ、重度の意識障害が継続する状態にある方に対して、重度後遺障害者専門の療護施設を全国12か所に設置・運営しています。

2.自動車事故を「防ぐ」

○運行管理者等の指導講習

貨物・旅客の運行管理者を対象に、運行管理の実務や関係法令、安全確保に必要な管理手法等の講習

を行っています。

○運転者の適性診断・カウンセリングの実施

適性診断では、心理・生理の両面から個人の特性を測定し、一人一人の安全運転に役立つようきめ細かいカウンセリングを行っています。

また、適性診断受診用パソコンのレンタル・地方の出張診断を行っています。詳しくは最寄りの支所までお問い合わせください。

○安全マネジメントサービス

運輸事業者が経営トップから現場まで一丸となり安全管理体制を構築・改善する運輸安全マネジメント制度が義務化されました。ナスバでは、安全マネジメントにかかる「コンサルティング」及び「安全マネジメントセミナー・講習会」を実施しています。

3.自動車事故から「守る」

○自動車アセスメント・チャイルドシートアセスメント（JNCAP）

自動車・チャイルドシートの安全技術について様々な評価試験を実施・公開しています。詳しくはナスバHPよりご覧ください。



自動車事故対策機構（ナスバ）札幌主管支所
札幌市中央区北2条東12丁目9-42

北2条新川ビル8階

TEL : 011-218-8155 FAX : 011-218-8156

HP : <https://www.nasva.go.jp/>

今回は、定期的に当事務所へ求人をご提出いただき登録者を採用いただいている自動車事故対策機構の奥名札幌主管支所長様から事業内容をご紹介いただきました。ありがとうございました。

ハローワーク紹介 - 滝川公共職業安定所 -

ハローワーク滝川
小林 敬真 所長



ハローワーク滝川は、滝川市、芦別市、赤平市、新十津川町、石狩市浜益区を管轄する本所と、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町を管轄する砂川出張所、そして深川市、妹背牛町、秩父別町、沼田町、北竜町、雨竜町を管轄する深川分室からなり、管内の面積は約3,400㎢と鳥取県とほぼ等しい広さです。

気候は内陸型気候で寒暖差が大きく、滝川市の令和5年の最高気温（35.7℃）と最低気温（-26.6℃）の差は62.3℃にもなり、積雪量も多く日々の気象状況では道内で最も多い積雪量を記録することも珍しくない地域です。

風土については、石狩川と空知川の豊富な水量に恵まれた石狩平野の中心部に位置することから、稲作を中心とした農業が盛んで、リンゴも道内有数の生産地であり、北竜町のひまわりや滝川市の菜種（菜の花）の作付面積は国内有数の規模を誇ります。



菜の花畑（滝川市）

また、豊かな自然を感じられる雨竜沼湿原やエルム高原、前述のひまわり畑や菜の花畑の見頃には多くの観光客が訪れますし、日光と地表温度により暖められた空気が生む熱上昇流（サーマル）と、周辺の山系から吹く風により生まれる山岳波（ウェーブ）により上昇気流が発生しやすい滝川市では、グライダースポーツが盛んで体験搭乗することもできますので、お越しの際は是非とも挑戦してみてください。



炭鉱遺産ガイダンス施設
（赤平市）
旧住友赤平炭鉱立坑やぐら

かつて主要産業であった石炭産業は、現在、露天炭鉱2鉱が稼働するのみとなりましたが、往事の香りを残す夏祭りが旧産炭地域各地で開催され、秋には農産地ならではの収穫イベントが各市町村で行われるなど、当所管内の特徴となっています。

労働市場に関しては、従業者数は卸売・小売業、医療・福祉、製造業、建設業の順に多く、当所で受理した新規求人も同産業が上位を占めていますが、物価や人件費の上昇から採用活動を控える状況も見られ、総数は前年比で大きく減少しております。また、求職者数も減少傾向にあり、若年者層が減少し高齢者層が増加している状況にあります。

このように利用者が減少している状況を踏まえ、今後は、インターネット等で就職活動している求職

者にハローワーク利用を呼びかけるとともに、「ハローワークインターネットサービス」サイトでのオンライン応募可能な求人の増加を図ること、加えて高齢者層の求職者対策にも力を入れ、地域に貢献するハローワークとなるよう心がけたいと考えております。



イトーヨーカドー北見店離職者総合相談会

9月4日、ハローワーク北見主催の「イトーヨーカドー北見店離職者総合相談会」が北見市民会館小ホールで開催され、当センターも相談ブースを設置しました。

当日は、各機関による制度説明と個別相談のほか、離職者の皆さまの雇用保険受給手続きが行われましたが、総合相談会にはイトーヨーカドー北見店を離職された67人が参加されました。

なお、当センターの相談ブースには6人の登録者の方々にお越しいただき、事前に提供させていただいた求人情報に関するご相談や現在の就職活動状況などについてご報告をいただきました。



当センターは、今後4週間ごとの失業認定日に職員を派遣し、ハローワーク北見の相談ブースをお借りし、職業相談を実施しながら再就職支援に取り組んでまいります。



「労働移動支援助成金」の改正

1か月に30人以上の離職者を生じさせるなど、ハローワークへ「再就職援助計画」を提出した事業主は、従業員の再就職支援にあたり「早期再就職支援等助成金（再就職支援コース）」が、また、再就職援助計画の対象となった方を早期に雇入れる事業主は「早期再就職支援等助成金（雇入れ支援コース）」が活用できます。

本助成金は2024年4月1日に改正されましたが、制度の詳細につきましては、厚生労働省のホームページでご確認ください。